

「協育」アドバイザー養成講座 初級講座

生涯学習行政においても現代的な最大の課題として取り組んでいる「家庭、学校、地域社会の教育の協働」を推進する中核的な人材の養成を行い、学校や地域での子どもの健全育成及び大人社会の再構築を推進する講座(2日間)を実施しました。家庭、学校、地域社会、そして、その三者の協働方策について体系的にプログラム化して、講義と演習形式で行いました。

受講生は、大分市を中心に中津市、佐伯市などから、協育コーディネーターや地域の指導者、行政職員などが参加していただき、2日間の講座の修了生は 18 名でした。

今後、修了生は地域での活動・実践を行いつつ、今年の9月(予定)には上級講座を受講することになっています。

期日 平成22年3月6日(土)・7日(日)



①家庭教育の現状・課題と協働(家庭教育への支援と家庭からの協働)方策

講師 大分大学教育福祉科学部教授 山岸治男

②学校教育の現状・課題と協働(学校教育への支援と学校からの協働)方策

講師 大分大学教育福祉科学部教授 山崎清男

③地域社会の現状・課題と協働(地域社会への支援と地域社会からの協働)方策

講師 大分大学高等教育開発センター准教授 岡田正彦

④教育の協働システムの構築とアドバイザーの役割に関すること

講師 大分大学高等教育開発センター教授 中川忠宣

受講者の感想①

改めて「協育」について考えた 2 日間でした。大学の先生に「家庭」「学校」「地域」の観点から問題点や課題を聞けてよかったです。今日お聞きした理論をもとに学校との連携と地域作りのコーディネートをしたいと思います。また、身の回りを見てネットワークを組める団体や個はいないかを見直してみます。特に、地域に入るのは難しいのですが、幸い、居住地区がコミュニティ再生に取り組んでいるので、腰を引かず中に入って発言していこうと力をもらいました。ありがとうございました。

受講者の感想②

本日は行政の立場ということで参加しましたが、メンバーが NPO であったり、自治会の方だったり立場が違う中で非常に参考になりました。行政以外の方と交流できれば、行政に何を求められているのかを知る機会となりますのでこれからも今回のネットワークで知りあった方たちと情報交換ができればと思います。

さらに、受講生の職場や地域での日常的な活動をお互いに支援するため、修了生のネットワークを組織(大分県「協育」アドバイザーネット)しました。

今後、このページで、メンバーの地域での活動等を紹介していきたいと考えています。

(文責 中川忠宣)